

死環（デスリング）という何だかおどろおどろしい言葉を聞かれた事がありますか。

これは樹木の種類を調べるとき、モチノキ科か否か、わかってしまう面白い現象の名前です。

たとえば園内トラ舎の向かい側に植栽されているタラヨウの大きな葉の裏面をライターであぶってみます。表面側から見ていると、葉の中の成分がサササと動く感じがし、間もなく葉の両面に黒い環が表われます。これが死環です。

参考書によると、葉の中には酸化酵素が含まれていますが、火が強く当たる中心部分の酵素は破壊されます。熱は全方向に伝わり、ある距離までくると破壊までゆかず、化学変化を起こし黒い円を描くとの事です。（ウーム理科系に強くなりたい）

ドイツのモーリッシュ博士が発見したこの現象。すぐに実験してみたくくなりますね。

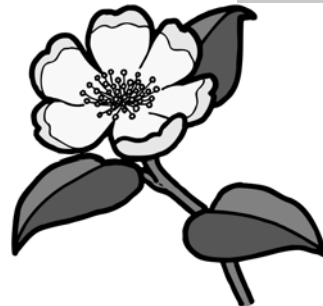
でも園内のタラヨウはやっと環境に慣れ、この秋たくさんの赤い実をつけた頑張り屋さんです。葉っぱは切らないでね。

野生や庭木のモチノキ・クロガネモチ・ナナメノキ等がモチノキ科の樹木です。

*トピックス

- ・「郷土の森林」冒険広場の上に、見事な大木のサザンカが咲き始めます。
 - ・ウッドデッキ「オオハシ」のケージ横に、芭蕉の巨大な花がたくさん咲いています。
- バナナそっくりの実もご覧下さい。

文：花咲くおばさん



花暦 霜月

サバンナのなかま

～いっしょに朝ごはん・シマウマとキリン～

現在、シマウマとキリンは交替でサバンナのパドックに出ているため、キリンが出ている日は、シマウマ親子は柵の内側でひなたぼっこをしています。

シマウマたちは毎朝お外で朝ごはんを食べるので、柵の内側にはシマウマのごはんが置いてあります。

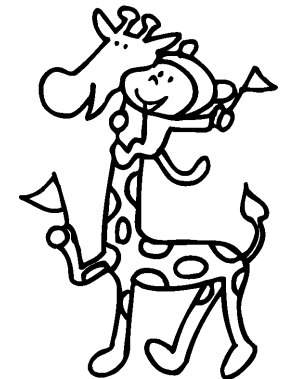
ところが、キリンのマリアはこのシマウマのごはんが食べたくてしかたありません。マリアはお部屋でちゃんと朝ごはんを食べてからお外に出ているのですが、ひとが食べているものは美味しく見えるんでしょうね。

そんなわけで、柵ごしに首を屈めてムシャムシャムシャ。



シマウマたちも、柵があれば安全ということをちゃんとわかっているようで、怒りもせずにいっしょに食べています。

ただ、マリアがシマウマのたてがみまで味見するのには、少し迷惑そうにしていますが…。



サバンナ班 津田能理子